令和３年度第３回野田市コミュニティバス等対策審議会

会　議　次　第

日時　令和４年３月７日（月）
　　午後３時から
場所　野田市役所　８階大会議室

１　開　　会

２　会長挨拶

３　議　　題

（１）　まめバス運行見直しに係る基礎調査の委託の実施について

（２）　まめバスの利用促進策について

４　そ の 他

５　閉　　会

■野田市コミュニティバス（まめバス）運行計画基礎調査概要

（網かけ二重下線：仕様書の変更箇所）

項目	目的	対象			調査方法（案）			実施までの役割分担		調査票
		内容		人数	仕様書	事業者提案	変更理由	野田市	事業者	
（1）まめバスを利用しない理由等のヒアリング等の実施	・ まめバスの運行サービスがある程度整っているのに、利用しない理由、利用に向けた改善等を把握	運行本数が多く人口が密集しているルート沿線バス停の 300m以内区域在住者 ＜具体的なバス停＞ 〇関宿複合センター入口（1, 2, 3, 4ルート） 〇岩木小入口（2, 3, 4, 5, 6, 7ルート） 〇堤台松山（6, 7ルート） 〇中野台（5, 6, 7, 11, 12ルート） 〇旧さくら並木入口（5ルート） 〇キッコーマン病院入口（4, 5, 6, 7, 9, 11, 12ルート） 〇中根（8, 11ルート） 〇神明神社入口（8, 9, 11ルート） 〇みずき小前（8, 9, 11ルート） 〇新田第一自治会館前（8, 11, 12ルート）		100 名程度 ※1バス停につき 10 名程度	・市が自治会を訪問しヒアリングを実施する旨を通知 ・調査員が無作為に訪問しヒアリング ・便利なバスの利用方法のチラシを配布	**①沿道市民アンケート調査** 市が指定した地域を対象に QR コード付きアンケート調査票をポスティング（回収率 2割を想定し 500 票配布）	コロナ禍等におけるリスク回避や幅広い年代から意見を徴収するため	□対象路線、区間の設定 □便利なバスの利用方法のチラシの印刷	□QRコード付きアンケート調査票のお願い文と調査票の作成 □アンケート調査票、便利なバスの利用方法のチラシのポスティング	調査票1
						②自治会の班長会等でのグループインタビュー（1～2回程度） **③訪問ヒアリング** **上記①沿道市民アンケート調査の回答者の中でヒアリングに同意した市民を訪問（市職員同行）**		□自治会への連絡、日時の設定	□インタビュー内容の作成 □当日のグループインタビュー	調査票 2
	・ 高齢者に対し、利用しない理由、利用に向けた改善等を把握	高齢者が集まるイベント等 ・のだまめ学校（月約 30 コマ開催、1 コマ平均 10 名参加）		100 名程度	市がイベント当日、アンケート用紙を配布し回収	同左 **④のだまめ学校参加者アンケート調査** **⑤認知症サポーター養成講座参加者アンケート調査**		□アンケート調査票の配布、回収	□アンケート調査票作成	調査票3
		・認知症サポーター養成講座（年 6 回開催、1 講座平均約 30 名参加		50 名程度						
（2）まめバス利用者の居住範囲等把握の利用調査の実施	・ 適切な箇所へのバス停設置に向けた実態把握 ・ ルートの効率化のための利用傾向、バス停の利用圏域、乗継有無の把握	〇北ルート関宿（七光台経由） 〇北ルート関宿（イオンタウン経由） 〇北ルート清水 〇北ルート堤台 〇南ルート中根 〇南ルート愛宕駅 〇南ルート大殿井		7ルート（6 台） 平日、土曜日 ※全便を対象 ※ヒアリングは乗客の 20%	・OD 調査 ・ヒアリング調査	**⑥OD 調査** 調査員がバスに乗り込み OD、属性を調査		□運行会社に連絡し、調査協力の依頼 ・車内に調査日の 1 週間程度前から調査のお知らせを周知するポスターの掲示依頼 ・バスに乗り込む調査員の運賃無償の依頼	□調査のお知らせを周知するポスターの作成、印刷 □OD 調査の実施	―
						⑦バス利用者アンケート調査 調査員がバスに乗り込み、ビンゴ形式のアンケートを配布し回収	より多くの回答を得るため全ての利用者を対象とした調査に変更		□ビンゴ形式のアンケート調査票の作成 □車内で配布・回収	調査票4
（3）福祉タクシーの利用目的及び移動傾向等の把握調査の実施	・ 福祉タクシー利用者の利用目的及び移動傾向の把握 ・ まめバスを利用しない理由	利用登録者のうち令和 3 年度福祉タクシー利用者	＜福祉タクシー利用対象者＞ 〇 介護保険制度に要支援・要介護の認定を受けた方 〇 65 歳以上のねたきりの方 〇 70 歳以上の一人世帯、夫婦世帯で、市町村民税が課せられていない方 ＜福祉タクシー助成額＞ 市と契約したタクシー会社を利用した場合、その料金の 2 分の 1 を助成。 助成限度額は1枚につき 1,000 円	1, 370 名程度	前年度利用実績がある交付者にタクシー助成券を発送する時にアンケート調査票と返信封筒を同封し郵送	同左 **⑧福祉タクシー利用者アンケート調査**		□発送に係る作業及び費用	□アンケート調査票の作成 □返信用封筒の作成 □料金後納払の手続き □返信費用	調査票5
		アンケート回答者の中でヒアリングに同意した市民 福祉タクシーの利用が多い区域で、まめバスの運行サービスが比較的整っている地域		50 件	訪問ヒアリング調査	**⑨自治会の班長会等でのグループインタビュー（1～2回程度）** **⑩訪問ヒアリング** **上記⑧福祉タクシー利用者アンケート調査の回答者の中の利用頻度が高い利用者でヒアリングに同意した市民を訪問（市職員同行）**	聞きたい内容は⑧アンケートで対応可能だが、⑨、⑩のヒアリングでより多くの回答を得るため	□自治会への連絡、日時の設定	□利用実績の名簿にある住所を集計し分布図を作成、まめバスルートとの重ね図の作成 □インタビュー内容の作成 □当日のグループインタビュー	調査票 2
		利用登録者のうち令和 3 年度福祉タクシー利用なしの方		1, 930 名程度	市が別途郵送	同左 **⑪福祉タクシー未利用者アンケート調査**		□発送に係る作業及び費用	□アンケート調査票の作成 □返信用封筒の作成 □料金後納払の手続き □返信費用	調査票6

■仕様項目とアンケート調査票の比較

（網かけ二重下線：仕様書の変更箇所）

調査票	仕様書上_設問項目	調査票_設問項目	備考
調査票1・ 調査票3	・まめバス利用の有無 ・まめバスを利用しない理由 ・まめバスがどのような運行であれば利用すると思うか	Ⅱ. まめバスの利用について	
	・本人の年齢 ・世帯構成 ・本人の運転の可否	Ⅲ.属性について	
	・本人の主な外出目的と目的地 ・本人の外出時間 ・本人の外出時の主な交通手段	Ⅰ. 日常生活の移動について	
	・家族の運転の可否（同居家族有の場合） ・家族の外出時の主な交通手段（同居家族有の場合）	―	・本項目は、回答者を送迎する同居家族がいるかどうかを確認する内容と認識しています。送迎者がいるとなると、交通手段や世帯構成から判断することが可能と想定されるため、本項目は必要ないと判断。 ・また、同居家族となると、範囲が広く、どこまでを対象とするのか（4 人家族であれば 4 人記入いただく必要があるのか）など、アンケート回答者が混乱する恐れがあるため、現時点では項目を削除。
調査票 2	・まめバスを利用しない理由のヒアリング	①まめバスを利用しない理由について ②まめバスを利用するために何を重視するか	
	・福祉タクシーの利用状況についてのヒアリング	③福祉タクシーを利用する理由について ④公共交通に求めるもの	
調査票4	・本人の主な外出目的と目的地 ・本人の外出頻度 ・本人の外出時の主な交通手段 ・本人の運転の可否 ・まめバス利用の頻度 ・まめバスの改善点 ・まめバスの運賃を増額した場合に今までどおり利用する額の上限	左記と同じ内容を記載	
	・本人の外出時間	―	ビンゴ形式のアンケートにするため、簡易的にこたえられる内容のみを反映。時間は聞き取りが難しいことから、項目を削除。
調査票5	・本人の福祉タクシーに関する主な利用目的、目的地、利用頻度及び利用時間	Ⅰ. 福祉タクシーの利用状況について	
	・世帯構成 ・本人の運転の可否 ・その他自由意見	Ⅱ. 属性について Ⅲ. 自由記入	
	・まめバスを利用する頻度 ・まめバスを利用しない理由（非利用者） ・まめバスがどのような運行であれば利用する又は利用が増えると思うか	―	・福祉タクシーの利用対象者は、主に障がい者や 70 歳以上の利用者であり、かなり限定された方であるため、まめバスを利用しないことが想定される。まめバスの改善というよりかは、福祉タクシーの改善（将来デマンド等を活用した移動を集約できるのか）に重きを置くため、本項目は削除
	・まめバス、福祉タクシー以外の移動支援施策（デマンド型交通等）があった場合に利用するか ※移動支援施策を例示する。また、例示した支援施策の説明も追加する。（例：「デマンド型交通（説明文） 1. したい 2. したくない」等）	Ⅰ.福祉タクシーの利用状況について Q2・Q3	・現在の福祉タクシーは指定されたタクシーにおいて利用できるということから、福祉タクシーを利用する際は、電話等で呼び出しをしているのではないかと想定。その場合、デマンド型交通と利用方法は変わらないことから、現時点で福祉タクシーに対する意向を把握することで、デマンド型交通への意向は把握できると想定。
	・訪問によるヒアリング調査実施の可否（ヒアリング可の場合は住所、氏名及び連絡先及び福祉タクシーの利用頻度）	―	・ヒアリングは調査票2と同様に行うこととするため、本項目を削除 ・ヒアリング可ということは、ご意見をお持ちでいる方であるため、アンケートに対しても真摯に対応していただけると想定。そのため、アンケートの自由記入等で対応する。
調査票6	・福祉タクシーを利用しない理由	Ⅰ. 福祉タクシーの利用状況について	
	・世帯構成 ・本人の運転の可否 ・その他自由意見	Ⅱ. 属性について Ⅲ. 自由記入	
	・まめバスを利用する頻度 ・まめバスを利用しない理由（非利用者） ・まめバスがどのような運行であれば利用する又は利用が増えると思うか	―	・福祉タクシーの利用対象者は、主に障がい者や 70 歳以上の利用者であり、かなり限定された方であるため、まめバスを利用しないことが想定される。まめバスの改善というよりかは、福祉タクシーの改善（将来デマンド等を活用した移動を集約できるのか）に重きを置くため、本項目は削除
	・まめバス、福祉タクシー以外の移動支援施策（デマンド型交通等）があった場合に利用するか ※移動支援施策の例示をお願いします。また、例示した支援施策の説明も追加してください。 （例：「デマンド型交通（説明文） 1. したい 2. したくない」等）	Ⅰ.福祉タクシーの利用状況について Q2・Q3	・現在の福祉タクシーは指定されたタクシーにおいて利用できるということから、福祉タクシーを利用する際は、電話等で呼び出しをしているのではないかと想定。その場合、デマンド型交通と利用方法は変わらないことから、現時点で福祉タクシーに対する意向を把握することで、デマンド型交通への意向は把握できると想定。

調査票1

まめバスに関するアンケート調査へのご協力のお願い

日頃より、野田市政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、現在市内には、平成16年よりコミュニティバス「まめバス」が運行しており、駅や商業施設等の生活圏域を12ルートで運行しています。

これまで運行ルートやダイヤ等の見直しをしながら、運行しています。

人口減少や少子高齢化が進む現状と将来を見据え、まめバスの利便性向上を図るため、皆様の意向を把握することを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

《ご回答の注意事項》

1.ご回答の方法について、質問ごとに（１つだけ）、（該当するもの全て）の２種類がございます。お間違いのないようお気をつけください。なお、質問の中で、具体的な時間や「回答を入力」という箇所については、当てはまる数字、あるいは質問の内容を踏まえた具体的な記述をお願いいたします。

2.アンケートの回答については、すべて統計的に処理され、他の目的には一切使用いたしません。また、個人が特定されることもございませんので、お考えのままにお答えください。

3．回答はスマートフォンまたはパソコン、タブレットから、右記のQR コードの回答先にアクセスし、お答えください。
なお、アンケートはおひとり様１回のみでお願い致します。

4．WEB アンケート回答が難しい場合は、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

アンケートは●月●日（●）までにご回答ください。

問い合わせ先：野田市　企画財政部　企画調整課
TEL　04-7123-1065　　FAX　04-7122-1577
電子メール　kikaku@mail.city.noda.chiba.jp

まめバスに関するアンケート調査

まめバスの運行改善に向けて、アンケートにご協力ください。

*必須

Ⅰ．日常生活の移動についてお聞きします。

あなた自身の日常の移動についてお聞きします。

1。　１－１　普段の外出頻度は次のうち、どれに当てはまりますか（1つだけ○）。 *

1 つだけマークしてください。

- ほぼ毎日
- 週に２～４回
- 週に１回
- 月に２～３回
- 月に１回
- 年に数回

2。　１－２①　普段の主な外出時間はいつですか。具体的な時間をご回答ください。（出発時間）

例: 午前 *8* 時 *30* 分

3。　１－２②　普段の主な外出時間はいつですか。具体的な時間をご回答ください。（帰宅時間）

例: 午前 *8* 時 *30* 分

4。 １－３　①普段の外出目的は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答可）。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 買い物
- [ ] 通院
- [ ] 趣味・娯楽
- [ ] 通勤・通学
- [ ] 業務（仕事での移動（仕入れ、配達、打合せ、会議等））

その他: [ ] _____

5。 １－３　②具体的な外出場所はどこですか。

記入例：愛宕駅、イオンタウン野田七光台

_____

6。 １－４　普段の外出時に最も利用する交通手段は次のうち、どれに当てはまりますか（１つだけ〇）。 *

1 つだけマークしてください。

- ( ) 徒歩
- ( ) 自転車
- ( ) バイク
- ( ) 鉄道
- ( ) 路線バス
- ( ) まめバス
- ( ) タクシー
- ( ) 自ら運転する自動車
- ( ) 自動車で送迎
- ( ) その他: _____

Ⅱ．まめバスの利用についてお聞きします。

まめバスの利用状況についてお聞きします。

7。 ２－１　まめバスの運行情報(バス停位置や運行ダイヤ・ルート等)を知っていますか（１つだけ〇）。 *

1 つだけマークしてください。

- 知っている
- 知らない

8。 ２－２　まめバスを普段利用されますか（１つだけ〇）。 *

1 つだけマークしてください。

- 利用する　　質問 *12* にスキップします
- 利用しない

9。 ２－３　まめバスを利用しない理由は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答）。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 運行本数が少ないから
- [ ] 乗りたい時間帯に運行していないから
- [ ] 目的地までの所要時間が長いから
- [ ] 行きたいところに行けないから
- [ ] 車いすやベビーカー等で利用しづらいから
- [ ] 他の移動手段があるから

その他: [ ] _____

10。 ２－４　まめバスをより利用するために重視する点は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答） *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] バス停まで近い
- [ ] 運行本数が多い
- [ ] 料金が安い
- [ ] 定時性がある
- [ ] 移動にあった運行ダイヤがある

その他: [ ] _____

11。 ２－５　利用したい場所に行くために、何時台に利用できれば、便利だと思いますか。（具体的な目的地・利用したい時間をご回答ください）

記入例：愛宕駅へ朝9時台

_____

_____

_____

_____

_____

Ⅲ．あなた自身についてお聞きします。

12。 ３－１　年齢 *

1 つだけマークしてください。

- ( ) 10歳代
- ( ) 20歳代
- ( ) 30歳代
- ( ) 40歳代
- ( ) 50歳代
- ( ) 60歳代
- ( ) 70歳代
- ( ) 80歳代以上

13。 ３－２　世帯構成 *

1 つだけマークしてください。

- ひとり暮らし
- 夫婦のみ
- 親と子（２世代世帯）
- 親と子と孫（３世代世帯）
- その他: _____

14。 ３－３　自動車免許、クルマの保有状況 *

1 つだけマークしてください。

- 免許を持っていて、自由に使えるクルマがある
- 免許は持っているが、クルマを持っていない（自由に使えない）
- 免許は持っていないが、家族等が送迎してくれるクルマがある
- もともと免許もクルマもない
- 最近免許を自主返納した

15。 ３－４　訪問ヒアリングの可否

まめバスの利用が増えるための取組みや改善について、具体的なご意見をお聞きしたいと考えており、直接ご自宅へ訪問してもよろしいですか。

1 つだけマークしてください。

- 良い

16。 ３－４　お住まい

記入例：光葉町一丁目

_____

訪問ヒアリングのための情報

訪問ヒアリングに承諾いただけた方は、氏名、住所（詳細）、電話番号（携帯番号可）をご記入ください。

17。　３－５　訪問ヒアリングのための情報

記入例）山田太郎、野田市●●●ー●ー●、047-000-0000

Ⅳ．自由記入

18。　まめバスについて意見がありましたらご自由にお書きください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

調査票2

まめバス・福祉タクシーに関するヒアリングシート

対象	ヒアリング項目	回答例
まめバス	①まめバスを利用しない理由について	・運行本数が少ないから ・乗りたい時間帯に運行していないから ・目的地までの所要時間が長いから ・行きたいところに行けないから ・車いすやベビーカー等で利用しづらいから ・他の移動手段があるから
	②まめバスを利用するために何を重視するか	・バス停まで近い ・料金が安い ・運行便数 ・運行ルート・定時性 ・運行時刻
福祉タクシー	③福祉タクシーを利用する理由について	・家から目的地までいけるため ・好きな時間に利用できるため ・自動車の運転をしない（できない）から ・バスではいけないため ・バスが不便（ダイヤや便数等）なため ・料金を補助してくれるため
	④公共交通に求めるもの	・家から目的地まで行ける ・料金が安いこと ・利用できる回数が多いこと ・目的地まで最短で行けること ・好きな時間に利用できること

まめバスに関するアンケート調査票

まめバスの運行改善に向けて、アンケートにご協力ください。

Ⅰ．日常生活の移動についてお聞きします。

Q1．あなた自身の日常の移動について

① 普段の外出頻度は次のうち、どれに当てはまりますか（1つだけ○）。

1．ほぼ毎日　2．週に1～2回　3．月に1回　4．年に数回
5．その他（　　）

② 普段の主な外出時間はいつですか。具体的な時間をご回答ください。

出発時間：（　　時　　分）　帰宅時間：（　　時　　分）

③ 普段の外出目的は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答可）。
また、具体的な場所はどこですか。

【外出目的】
1．買い物・私事　2．通院　3．通勤・通学　4．業務（仕事での移動）
5．その他（　　）
【具体的な利用施設】
（　　）

④ 普段の外出時に最も利用する交通手段は次のうち、どれに当てはまりますか（1つだけ○）。

1．徒歩　2．自転車　3．バイク　4．鉄道　5．路線バス
6．まめバス　7．タクシー　8．福祉タクシー　9．自ら運転する自動車
10．自動車で送迎　11．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

Ⅱ．まめバスの利用についてお聞きします。

Q3．まめバスの利用状況について

① まめバスの運行情報(バス停位置や運行ダイヤ・ルート等)を知っていますか（1つだけ○）。

1．知っている　2．知らない（➡④へ）

② まめバスを普段利用されますか（1つだけ○）。

1．利用する（➡④へ）　2．利用しない

③ まめバスを利用しない理由は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答）。

1．家からバス停までが遠い　2．目的地からバス停までが遠い
3．運行本数が少ないから　4．乗りたい時間帯に運行していないから
5．目的地までの所要時間が長いから　6．行きたいところに行けないから
7．車いすやベビーカー等で利用しづらいから　8．鉄道やバスとの乗継が不便だから
9．他の移動手段があるから　10．その他（　　）

裏面に続きます。

④ まめバスをより利用するために重視する点は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答）。

1．バス停までが近い	2．運行本数が多い
3．料金が安い	4．定時性がある
5．移動にあった運行ダイヤがある	6．その他（　　）

⑤ 利用したい場所に何時台にあれば便利だと思いますか。

【目的地（具体的な施設）】記入例：愛宕駅	**【利用した時間】**　記入例：朝９時台

Ⅲ．あなた自身についてお聞きします。

①年齢	1．10 歳代　2．20 歳代　3．30 歳代　4．40 歳代　5．50 歳代 6．60 歳代　7．70 歳代　8．80 歳代以上
②世帯構成	1．ひとり暮らし　2．夫婦のみ　3．親と子（2 世代世帯） 4．親と子と孫（3 世代世帯）　5．その他（　　）
③住所	1．野田市（　　）※市内の字名をお答えください　記入例：光葉町一丁目 2．その他（　　）
④自動車免許、クルマの保有状況	1．免許を持っていて、自由に使えるクルマがある 2．免許は持っているが、クルマを持っていない（自由に使えない） 3．免許は持っていないが、家族等が送迎してくれるクルマがある 4．もともと免許もクルマもない 5．免許を自主返納した

Ⅳ．まめバスについて意見がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

野田市 企画財政部 企画調整課（TEL：04-7123-1065）

調査票４

乗車バス停【　　】　　野田市企画調整課（TEL：04-7123-1065）

まめバスに関するアンケート調査カード

次の質問に対し、当てはまる答えを1つ選んで折り込み、調査員にお渡しください。	①乗車場所	自宅から	目的地から	
②自宅からバス停までの徒歩時間	5分以内	5~10分	10~15分	15分以上
③まめバスの利用頻度	ほぼ毎日	週1~2日	月1回	年に数回
④まめバスの主な利用目的	買物・私事	通院	通勤・通学	業務
⑤他の交通へ乗り継ぎ	鉄道	路線バス	まめバスの他路線	
⑥まめバスをより利用するために重視する点	バス停まで近い	運行本数が多い	料金が安い	定時性がある	移動に合った運行ダイヤ
⑦まめバスの運賃改定による利用	200円であれば利用	170円であれば利用	150円であれば利用	増額したら利用しない
⑧まめバス以外の外出時の主な交通手段	徒歩	自転車	バイク	鉄道	
	路線バス	タクシー	福祉タクシー	自ら運転する自動車	自動車で送迎
⑨主な外出頻度	ほぼ毎日	週1~2日	月1回	年に数回
⑩自動車免許の保有状況	免許を持っている	免許を持っていない	自主返納した	
⑪年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	
	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	

ご協力ありがとうございました。

地域公共交通(福祉タクシー)に関するアンケート調査票

地域公共交通の充実に向けて、アンケートにご協力ください。

Ⅰ．福祉タクシーの利用状況についてお聞きします。

Q1. 福祉タクシーの利用実態について

① 主に福祉タクシーを往復（行き帰り）で利用しますか（1 つだけ○）。

1．往復で利用する（➡③へ）　　2．往復で利用しない

② 往復で利用しない場合、行き又は帰りの主な交通手段は次のうち、どれですか（1 つだけ○）。

1．徒歩　2．自転車　3．バイク　4．鉄道　5．路線バス
6．まめバス　7．タクシー　8．自ら運転する自動車　１０．自動車で送迎
１１．その他（　　）

③ 概ね 1 か月に福祉タクシーを何回利用されますか。　（　　）回

④ 福祉タクシーの主な利用目的は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答可）。
また、具体的な場所はどこですか。

【外出目的】
1．買い物　2．通院　3．金融機関　4．公共施設
5．その他（例：デイサービス　　）
【具体的な利用施設】
（　　）

⑤ 福祉タクシーを利用する理由は次のうち、どれに当てはまりますか（複数回答可）。

1．家から目的地までいけるため　2．好きな時間に利用できるため
3．自動車の運転をしない（できない）ため　4．バスでは目的地に行けないため
5．バス（運行ダイヤや便数等）が不便なため　6．料金を補助してくれるため
7．その他（　　）

⑥ 福祉タクシーを利用の際に、概ね 1 回の支払い金額(助成金を除く)はいくらですか。

（　　）円

Q2. 福祉タクシーのサービス内容について、それぞれどれに当てはまりますか(1 つだけ○)。

内容	問題ない	やや問題ある	大いに問題ある	わからない
①家からの利用で、市が契約しているタクシー事業者のタクシーを呼び出すことについて	3	2	1	0
②目的地での利用で、市が契約しているタクシー事業者のタクシーを呼び出すことについて	3	2	1	0
③利用できる回数について	3	2	1	0

裏面に続きます。

「やや問題ある」「大いに問題ある」の理由など、福祉タクシーの利用に関してご意見をお聞かせください。

Q3. 公共交通に求めるものとして、最も当てはまるものは次のうちどれですか(1 つだけ○)。

1．家から目的地まで行けること　　2．料金が安いこと
3．利用できる回数が多いこと　　4．目的地まで最短で行けること
5．好きな時間に利用できること　　6．その他（　　）

Ⅱ．あなた自身についてお聞きします。

①年齢	1．40 歳代　2．50 歳代　3．60 歳代　4．70 歳代　5．80 歳代以上
②世帯構成	1．ひとり暮らし　2．夫婦のみ　3．親と子（2 世代世帯） 4．親と子と孫（3 世代世帯）　5．その他（　　）
③実際に住んでいる所	1．野田市（　　）※市内の字名をお答えください　記入例：光葉町一丁目
④日常生活の外出頻度	1．ほぼ毎日　2．週に 1～2 回　3．月に 1 回　4．年に数回 5．その他（　　）
⑤外出時の介助の可否	1．介助は必要ない　2．支援や介助が必要 3．その他（　　）
⑥自動車免許、クルマの保有状況	1．免許を持っていて、自由に使えるクルマがある 2．免許は持っているが、クルマを持っていない（自由に使えない） 3．免許は持っていないが、家族等が送迎してくれるクルマがある 4．もともと免許がない 5．免許を自主返納した

Ⅲ．福祉タクシーについて意見がありましたらご自由にお書きください。

Ⅳ．訪問ヒアリングの可否

地域公共交通の利用促進に向けた取り組みや改善に関して、具体的なご意見をお聞きしたいと考えており、直接ご自宅へ訪問してもよろしいですか。※訪問しても良い方は、氏名,住所(詳細),電話番号（携帯番号可）をご記入ください。

1．良い
（氏名：　　住所：野田市
電話番号：　　）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

野田市 企画財政部 企画調整課（TEL：04-7123-1065）

地域公共交通(福祉タクシー)に関するアンケート調査票

地域公共交通の充実に向けて、アンケートにご協力ください。

Ⅰ．福祉タクシーの利用状況についてお聞きします。

Q1．福祉タクシーの利用実態について

① 過去に福祉タクシーを利用したことがありますか（1 つだけ○）。

1．利用したことがある　　2．利用したことがない

② 福祉タクシーを利用しなかった理由について、どれに当てはまりますか。（複数回答可）

1．あまり外出しないため
2．交通機関を利用するような場所にあまり行かないため
3．徒歩や他の交通手段で移動することが多いため
4．家からタクシーを呼び出すのが煩わしいため
5．目的地でタクシーを呼び出すのが煩わしいため
6．その他（　　）

③ 公共交通に求めるものとして、最も当てはまるものは次のうちどれですか（1 つだけ○）。

1．家から目的地まで行けること　　2．料金が安いこと
3．利用できる回数が多いこと　　4．目的地まで最短で行けること
5．好きな時間に利用できること　　6．その他（　　）

Ⅱ．あなた自身についてお聞きします。

①年齢	1．40 歳代　2．50 歳代　3．60 歳代　4．70 歳代　5．80 歳代以上
②世帯構成	1．ひとり暮らし　2．夫婦のみ　3．親と子（2 世代世帯） 4．親と子と孫（3 世代世帯）　5．その他（　　）
③実際に住んでいる所	1．野田市（　　）※市内の字名をお答えください　記入例：光葉町一丁目
④日常生活の外出頻度	1．ほぼ毎日　2．週に 1～2 回　3．月に 1 回　4．年に数回 5．その他（　　）
⑤外出時の介助の可否	1．介助は必要ない　2．支援や介助が必要 3．その他（　　）
⑥主な目的地	目的地（具体的な場所）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
⑦主な交通手段	1．徒歩　2．自転車　3．バイク　4．鉄道　5．路線バス 6．まめバス　7．タクシー　8．自ら運転する自動車　9．自動車で送迎 10．その他（　　）
⑧自動車免許、クルマの保有状況	1．免許を持っていて、自由に使えるクルマがある 2．免許は持っているが、クルマを持っていない（自由に使えない） 3．免許は持っていないが、家族等が送迎してくれるクルマがある 4．もともと免許がない 5．免許を自主返納した

裏面に続きます。

Ⅲ．福祉タクシーについて意見がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

野田市 企画財政部 企画調整課（TEL：04-7123-1065）

まめバス運行計画基礎調査業務委託仕様

１．業務の目的

野田市では、平成 15 年６月６日の関宿町との合併を機に、「新市建設計画」の重点事業の一つとして、コミュニティバス「まめバス」の運行を平成 16 年１月９日より開始し、景気の低迷等による利用者の減少、燃料費の高騰による事業費の増加等に対応するため見直しを重ね、平成 31 年４月から新たに１２ルートで、駅、商業施設等の生活圏域に合った運行をしている。まめバスの現運行計画が令和５年度末で終了となるため、現在、令和６年度の新運行計画の開始に向けた準備を進めている。

また、人口減少や高齢化が進む現状と将来を見据え、まめバスの利便性向上に加え、まめバスのみでは市民の移動を支援できない交通不便地域について、公共交通の役割とターゲットを明確にしながら、福祉タクシー、デマンド交通等の移動手段との調整を図る必要がある。

本業務は、そのような現状を踏まえ、現運行計画を抜本的に見直すことから、基礎調査として、市民へのヒアリング、まめバス利用調査、福祉タクシー利用実態調査、デマンド交通の先進市事例の調査分析等を実施し、新たな運行計画の改定を支援するものである。

2. 業務の概要

（１）まめバスを利用しない理由等のヒアリング等の実施

まめバスが運行しているのに利用しない理由やどのような運行であれば利用すると思うか等を把握するため、まめバスの利用が多いルート沿線の人口密集区域の在住者にヒアリングし、また、高齢者が集まるイベント等の場においてアンケート調査を実施する。

【バス停の 300m以内区域在住者への訪問ヒアリング】

＜対象区域＞

まめバスの便数が多く人口が密集しているバス停の 300m以内区域の在住者 100 名程度（回収サンプル内訳：１バス停につき 10 名程度×10 バス停）

＜訪問方法＞

対象となる区域の自治会を通して、訪問ヒアリングを実施する旨を市が事前に通知した上で、無作為に訪問しまめバスを利用しない人にヒアリングする。

なお、回収するサンプルについては、可能な限り幅広い年代のものとする。

また、訪問の際に、ヒアリングの対象か否かに係らず、別途、市が作成する対象バス停からの便利なバスの利用方法に関するチラシの配布を行うものとする。

＜調査項目＞

・まめバス利用の有無
・本人の年齢
・世帯構成
・本人の主な外出目的と目的地
・本人の外出頻度
・本人の外出時間
・本人の運転の可否
・本人の外出時の主な交通手段
・家族の運転の可否（同居家族有の場合）

・家族の外出時の主な交通手段（同居家族有の場合）
・まめバスを利用しない理由
・まめバスがどのような運行であれば利用すると思うか
（ヒアリング実施前に対象のバス停名を記載する。）

【高齢者が集まるイベント等の場におけるアンケート調査】

＜対象イベント等＞

・のだまめ学校（月約 30 コマ開催、1 コマ平均 10 名参加、回収サンプル 100 名程度）
・認知症サポーター養成講座（年 6 回開催、1 講座平均約 30 名参加、回収サンプル 50 名程度）

※上記イベントが中止された場合は、市が指定する代替のイベントにおいて、当該中止されたイベントに係る予定数と同程度のサンプルを回収するものとする。

＜調査準備＞

市がイベントで配布するアンケート用紙の作成を行う。調査項目は下記のとおりとし、作成数は 200 枚とする。

＜調査方法＞

市がイベント当日、アンケート用紙を配付し回収する。

<調査項目＞

・本人の主な外出目的と目的地
・本人の外出頻度
・本人の外出時間
・本人の運転の可否
・本人の外出時の主な交通手段
・世帯構成
・家族の運転の可否（同居家族有の場合）
・家族の外出時の主な交通手段（同居家族有の場合）
・まめバス利用の有無
・最寄りのまめバスバス停（わかれば）
・まめバスを利用しない理由（非利用者）
・まめバスがどのような運行であれば利用すると思うか（非利用者）
・まめバスの改善点（利用者）
・まめバスの運賃を増額した場合に今までどおり利用する額の上限（利用者）
・その他自由意見

（２）まめバス利用者の居住範囲等把握の利用調査の実施

まめバスのバス停設置場所の利便性を向上させるため、利用している人がバス停からどのくらいの距離の範囲に居住しているのか把握し、また、地域の特性に合わせたルートの効率化のため、短距離移動及び長距離移動の傾向を把握することから、居住範囲、乗り継ぎの有無や利用目的等についての利用調査（ＯＤ調査）及び乗車中の方から利用状況等のヒアリングを行う。

【OD 調査及び利用者ヒアリング】

＜調査時期＞

令和４年４月の１週間程度

＜調査回数＞

・利用が多いルート１ルートにつき２回（平日１回、土日１回）×７ルート（６台）

・北ルート関宿（七光台経由）（平日７便、休日６便）

・北ルート関宿（イオンタウン経由）（平日６便、休日５便）

・北ルート清水（平日７便、休日６便）

・北ルート堤台（平日８便、休日７便）

・南ルート中根（平日６便、休日５便）

・南ルート愛宕駅（平日５便、休日４便）

・南ルート大殿井（平日７便、休日４便）

※市が予測する利用者数と実利用者数の乖離を把握するため、各ルート全ての便の調査を実施する。

＜OD 調査項目＞

・乗車したバス停名

・降車したバス停名

・乗車したバス停から見た自宅の方角及び自宅からバス停までの徒歩時間

・年齢

・まめバスの主な利用目的

・乗り継ぎの有無

＜ヒアリング項目＞

・本人の主な外出目的と目的地

・本人の外出頻度

・本人の外出時間

・本人の外出時の主な交通手段

・本人の運転の可否

・まめバス利用の頻度

・まめバスの改善点

・まめバスの運賃を増額した場合に今までどおり利用する額の上限

＜ヒアリングのサンプル数＞

・OD 調査のサンプル数の 20%以上とする。

【利用分布図等の作成】

利用者の居住範囲等を把握するため、利用分布図や人の流れの詳細等を作成する。

（３）福祉タクシーの利用目的及び移動傾向等の把握調査の実施

福祉タクシー利用者の利用目的及び移動傾向を把握するため、利用目的、目的地、まめバスを利用しない理由等について、高齢者福祉タクシー利用登録者を対象に郵送による利用調査を実施する。

また、郵送による利用調査において訪問によるヒアリング調査の実施が可能と回答した人を中心に、郵送調査で収集した（住所、氏名、連絡先等）に基づき、日程等を調整の上訪問し、まめバスを利用しない理由等についてヒアリングを実施する。ヒアリングに当たっては、福祉タクシーの利用が多い区域から、まめバスルート沿線を中心に、福祉タクシーの利用頻度が高い方を優先的に抽出して実施する。

【利用登録者の分布図等の作成】

市が提出する登録者名簿をもとに利用の分布図等を作成する。

【郵送による利用調査】

＜発送時期＞

令和４年３月末

・前年度利用実績がある交付者については、市高齢者支援課がタクシー助成券を一斉に発送する時に、調査用紙及び返信用封筒を同封し郵送する。

・前年度利用実績がない未交付者については、市が別途発送する。

※印刷及び回収に係る作業及び費用は受注者が負担し、発送に係る作業及び費用は発注者が負担する。

※回収率は 30%を見込み、超過分に係る費用ついては別途協議するものとする。

＜対象者＞

利用登録者 3,300 名程度

＜調査内容＞

①利用登録者のうち令和３年度福祉タクシー利用者　1,370 名程度

（調査項目）

・本人の福祉タクシーに関する主な利用目的、目的地、利用頻度及び利用時間

・世帯構成

・本人の運転の可否

・まめバスを利用する頻度

・まめバスを利用しない理由（非利用者）

・まめバスがどのような運行であれば利用する又は利用が増えると思うか

・まめバス、福祉タクシー以外の移動支援施策（デマンド型交通等）があった場合に利用するか

※移動支援施策を例示する。また、例示した支援施策の説明も追加する。(例：「デマンド型交通（説明文）　１．したい　２．したくない」等)

・訪問によるヒアリング調査実施の可否（ヒアリング可の場合は住所、氏名及び連絡先及び福祉タクシーの利用頻度）

・その他自由意見

②利用登録者のうち令和３年度利用無しの方 1,930 名程度（前年度利用実績 0 枚の者）

（調査項目）

・世帯構成

・本人の運転の可否

・福祉タクシーを利用しない理由

・まめバスを利用する頻度

・まめバスを利用しない理由（非利用者）

・まめバスがどのような運行であれば利用する又は利用が増えると思うか

・まめバス、福祉タクシー以外の移動支援施策（デマンド型交通等）があった場合に利用するか

※移動支援施策の例示をお願いします。また、例示した支援施策の説明も追加してください。

（例：「デマンド型交通（説明文）　１．したい　２．したくない」等）

・その他自由意見

【訪問によるヒアリング調査】

＜対象者＞

・福祉タクシーの利用者に対して行った郵送調査において、ヒアリング可能と回答した方

・下記対象区域から福祉タクシーの利用頻度が高い方から順に実施する。

・調査サンプル数　50 件

＜対象区域＞

・福祉タクシーの利用が多い区域から、まめバスルート沿線を中心に実施する。

＜調査項目＞

・郵送でのアンケート調査の項目に対する回答内容を基に、福祉タクシー以外の移動支援手段に求めている事項等をヒアリングする。

（４）調査結果の取りまとめ

（１）から（３）までのアンケート調査、ヒアリング調査等についての取りまとめを行う。調査ごとに、調査内容の一覧を作成するとともに、集計を行い、視覚的にも確認しやすい方法で取りまとめを行い、報告すること。報告については、調査ごとに終了後速やかに取りまとめ資料を提出し、全調査が終了した後、全てをまとめた形で資料を提出すること。

（５）先進市デマンド交通を市に導入した場合の調査分析の実施

デマンド交通のどのような運行方法が市に適しているか分析することから、地理的条件や公共交通状況等が市と近い状況にある先進市のデマンド交通を、市に導入した場合のメリット・デメリットについて把握するための調査分析を実施する。

（６）まめバスの効果的な運行ルート等の設定のための課題整理

まめバスの効果的な運行ルート等を設定するため、上記（１）から（５）までの調査分析結果に対する野田市コミュニティバス等対策審議会の意見等を踏まえ課題を整理する。

まめバス運行計画の見直しスケジュール（案）

内　容	令和3年度	令和4年度											令和5年度												令和6年度
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
コンサル業務（基礎調査）	バス停300m区域アンケート、インタビュー・訪問ヒア事前通知（市） イベントアンケート調査票納品 福祉タクシー登録者郵送調査票納品 福祉タクシー調査票発送（市）	バス停300m区域アンケート、まめバスインタビュー・訪問ヒア のだまめ学校アンケート調査・集計 OD調査、バス利用者アンケート 福祉タクシー郵送調査・集計、インタビュー・訪問ヒア 先進市デマンド交通調査分析	バス停300m区域アンケート集計、インタビュー・訪問ヒア整理 認知症講座アンケート調査・集計 OD調査・バス利用者アンケート集計 福祉タクシーインタビュー・訪問ヒア整理	会議資料作成（調査結果・課題整理） 子育て世代、女性、障がい者、中高生意識調査・集計（市）		成果品取りまとめ 納品																			
コンサル業務（分析・見直し案提案）					運行計画の見直しに向けた基礎データの整理		運行計画の見直し方針の検討、運行ルート及びダイヤ等の計画・事業収支等の検討			会議資料作成（運行見直し案、収支予測等）						会議、調整結果による運行計画の修正、運行後の進行管理の検討		会議資料作成（パブコメ取りまとめ）		成果品取りまとめ 納品					
審議会	第3回審議会（基礎調査に係る委託内容及びスケジュールの説明、現運行計画の利用促進策の審議）			第1回審議会（基礎調査の結果報告及び課題の検討、基礎調査後の分析及び提案に係る委託内容の検討）		第2回審議会（整理した課題等のとりまとめ結果を報告）		第3回審議会（基礎調査後の分析及び提案に係る委託内容の説明）		第4回審議会（諮問）（運行計画見直し当初案・収支予測を提案）		第5回審議会（運行計画見直し当初案・収支予測を審議）	第6回審議会（運行計画見直し当初案・収支予測を審議）		第1回審議会（運行計画の素案を確定）			第2回審議会（パブコメを反映した運行計画案審議）	第3回審議会（答申）（パブコメを反映した運行計画案決定）		第4回審議会（ルート名称・新規バス停設置・ルート図・時刻表の作成案提示）	第5回審議会（ルート名称・新規バス停設置・ルート図・時刻表の作成案を審議）	第6回審議会（ルート名称・新規バス停設置・ルート図・時刻表の作成案を確定）		第7回審議会（新ダイヤ運行の報告）	
関係機関調整										道路管理者・運行事業者等と新ルート設定の調整															現運行計画延長（R6.4～R6新運行）
パブリックコメントの実施																	主管者会議 調整会議	意見聴取期間 8/1市報	意見取りまとめ							
新運行計画確定 新運行事業者公募 新運行事業者調整 新運行認可手続																				新運行計画案決定	入札	協定締結（運行期間R6～R11） 新運行ダイヤ調整等		新運行ダイヤ確定	新運行認可手続	R6新運行
新ルート図・時刻表作成																									新ルート図・時刻表作成	市報配布
デマンド交通 福祉タクシー				タクシー事業者との調整								先進市デマンド交通調査分析から野田市への導入案をまめバス見直し案と併用して検討（コンサル業務） まめバスの運行計画の見直し、福祉タクシーの拡充等の検討を踏まえ、残された公共交通空白地区の対応									各審議会で審議				

まめバスの利用促進策について

まめバスは、野田市と関宿町の合併を契機に、平成 16 年に「公共施設へのアクセス性の向上」をコンセプトに運行を開始し、これまで限られた財源の中で運行の見直しを重ね、平成 31 年４月からは運行目的を「生活圏域への移動の利便性向上」にシフトし、現在の運行計画による運行を開始しています。令和３年７月に関宿方面と市役所方面の乗継ぎ時間の短縮を図るため、関宿城ルート、北ルート関宿七光台経由及び北ルート関宿イオンタウン経由のダイヤを改正したところです。

今年度の利用状況については、２月 28 日現在で、全 12 ルートの利用者数が 222,085 人と前年比 21,519 人増となっており、１便当たりの利用者数が 6.2 人で前年比 0.6 人増となっておりますが、見直した３ルートは改正後の利用が伸びない状況にあります。

依然として、まめバスが市民に浸透していない状況にあることから、高齢者に限らない幅広い年代の周知を行い、まめバスの認知度を上げて利用していただくことが必要となるため、下記のとおり、まめバスの利用促進策を実施いたします。

≪利用促進策（案）≫

①野田自動車教習所の高齢者講習において、講習資料と一緒にまめバスの案内を配布していただく。

＜講習参加者＞

70 歳以上の方（参加状況：年間 5,000 人程度）

②包括連携協定を結んでいる生命保険会社の担当者に、顧客の個別訪問時等において、まめバスの案内を配布していただく。

＜市内の顧客＞

50 歳以上の顧客が多数

③小学校（公共交通を理解し始めると思われる３年生の１クラスを目安）で出前授業を行う。

＜小学校における座学＞

・まめバスの概要を説明
・まめバスのキャラクターの名前等のクイズを出題
・児童が時刻表を見て乗車方法を作成
・ペーパークラフトキットを配布等

＜乗車体験＞

茨城急行自動車野田営業所に常駐しているまめバスの乗車体験を行う。

④子育て世代、女性、障がい者、中高生がそれぞれ集まる場において、まめバスの利用意識調査及びまめバスの案内配布を行う。

＜子育て世代＞

乳幼児健康診査、親子教室、子育て相談等の参加者（参加状況：各種 40 人程度）

＜女性＞

商工団体女性部の方、市内中高校教員

＜障がい者＞

市内障がい者施設の利用者（施設設置数 100 以上）

＜中高生＞

市内中学校（11 校）及び高校（５校）の生徒